



# よんでもませんか

2025年

(5・6年生向け)

## のうじょうにすむねこ

**トラネコポンポン なかにしなちあ／作  
小学館**

猫（ねこ）が農場の動物たちを紹介（しょうかい）していくお話。現代アート風で、地図や楽譜（がくふ）、外国語の文章の切り抜（ぬ）きがところどころにあって間違（まちが）い探し（さが）しのように楽しめる絵本。ぜひ親子で読んでみてください。



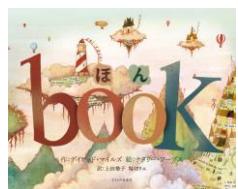
## 奇妙で不思議な樹木の世界

**ジェン・グリーン／文 英国王立園芸協会／監修  
クレア・マケルファトリー／絵 加藤 知道／訳  
創元社**

みなさんは樹木（じゅもく）についてどれくらい知っていますか？ 樹木は地球上で最も大きく、最も重く、最も長生きするとも言われています。そんな樹木のたくさんの不思議にふれてみませんか。

## ほん book

**ティビッド・マイルス／作 ナタリー・フース／絵  
上田 勢子・堀切 リエ／訳  
子どもの未来社**



この「ほん」「本」「book」をよく見てごらん。そうしたら新しい世界に入りこめる。あなたにとっての「ほん」とはなあに？ ところどころにかくれた日本語も探し（さが）してみてね。



## 赤毛のアン

**ルーシー・モード・モンゴメリ／著 曽野 緹子／訳  
興陽館**

手違（てちが）いで、カナダのプリンスエドワード島に住む、カスバート兄妹のもとにやって来た孤児（みなし）のアンの成長物語。今年再アニメ化もされたので、観たことがある人もいるのでは？

## せんそうがあわるまで、あと2分

**ジャック・ゴールドス汀／作 長友 恵子／訳  
合同出版**



赤いポピーの意味を知っていますか？ ジュールは生まれたときからジムの2分遅（おく）れ。二人はカナダから遠い戦場へ行くことになり……。戦争本と遠ざけないで読んでみてほしい1冊（さつ）。



## 三本の金の髪の毛 中・東欧のむかしばなし

**松岡 享子／訳 降矢 なな／絵  
のら書店**

狩（かり）りの好きな王さまがとまることになった炭焼きの家で、その夜生まれた赤ん坊に、三人の女が予言を贈（おく）りました。屋根うらの床板（ゆかいた）のすきまからそれを見ていた王さまは、何とかして予言の裏をかこうと考えます。<表題作より>気になる話から読むことのできる短編集です。

## 少年探偵 1 怪人二十面相

**江戸川 乱歩／作  
ポプラ社**



怪人（かいじん）二十面相と名探偵（めいたんてい）明智小五郎・その助手である小林少年の華麗（かれい）なる推理（すいり）対決。あまりミステリーを読んだことがない人にも、ぜひ、この名作は味わってもらいたいです。



## みるなのくら

**おざわ としお／再話 赤羽 末吉／画  
福音館書店**

山奥（やまおく）へ迷いこんだ貧しい若者は、美しいあねさまのいる大きな屋敷（やしき）にたどり着きます。屋敷には十二のくらがありました、「けっしてみないでくださいね」と言われたみるなのくらをあけてしまい……。

## 伝統の和食から現代のWASHOKU

**服部 幸應・服部 津貴子／監修 こどもくらぶ／編  
あすなろ書房**



伝統的な和食と、私たちの毎日の食事にはいろいろな違いがあります。この本は、身近な食文化である和食を、伝統の和食・懐石（かいせき）料理・現代のWASHOKUというテーマから紹介（しょうかい）します。



## ウマと話すための7つのひみつ

**河田 桂／文と絵  
偕成社**

動物と話したいと思った人もいるのではないでしょうか。ここにでてくるウマにも、居心地の良い距離感（きょりかん）ということがあります。そのコミュニケーションのために「馬語」を使用します。ウマとの接し方が分かる本です。



柏市立図書館のホームページにも掲載しています。ご覧ください。

さしえとタイトル 大野 隆司・版画

柏市立図書館

電話 04-7164-5346

<https://toshо.city.kashiwa.lg.jp/>

